

校長室から

ひがしなら通心

(H30年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 4

平成30年4月20日(金)発行

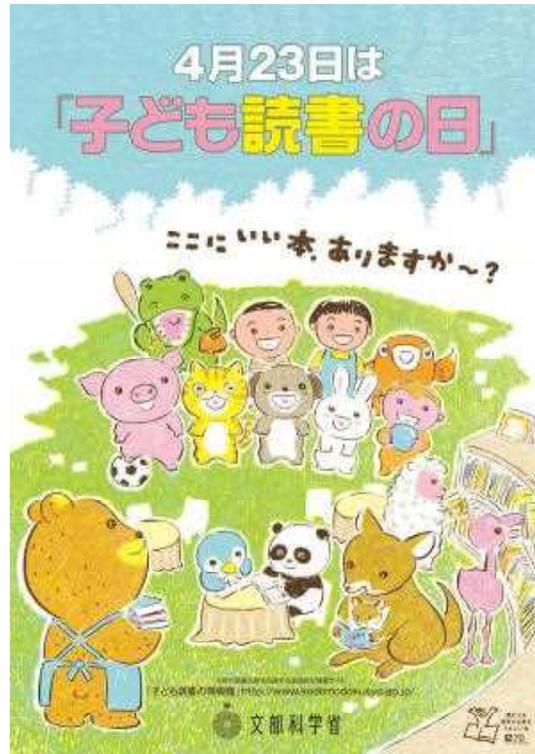
4月23日(月)は、「子ども読書の日」

読書は心の食事、たくさん読もう！
楽しく読もう！

ユネスコがシェイクスピアとスペインの文豪セルバンテスの命日である4月23日を「世界・本の日」と宣言しています。欧米、特にスペインでは、この日、本を贈る習慣があります。

社団法人読書推進運動協議会が、毎年、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」と定めて、子どもの読書活動の普及・啓発を図っています。

平成13年12月に「子ども読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、4月23日が「子ども読書の日」となりました。本をいっぱい読んで、心にいっぱい栄養を！！



本を好きになろう！読書を楽しもう！

読書の良さはどんなところでしょうか。読書は、人類が獲得した文化と言われています。読書することで、ものを考えるようになりました。たとえば、読書をする、「文章から人物の気持ちやその状況、情景などを想像することができる」という人がいます。自分がもし登場人物だったら、どうしていたかなどと考えることができるのです。また、「自分を知ることになる」という人もいます。本を読んでいる自分と、もう一人の本の中の自分がいるそうです。不思議なことですが、楽しいことだと思います。つまり、読書の習慣を身につけ

ると一生の財産として、さまざまな力が身につくと言われています。たとえば、「考える力」「感じる力」「想像する力」「表現する力」「知識を得る力」などのことでしょう。それが学力の向上にもつながります。そして、教養が身につく、自分らしい感じ方も身につくのです。読書をすることは、私たちが生きていく上できわめて重要なのです。

女優であり、脚本家でもある中江 有里さんは、通勤時間が片道1時間40分ぐらいかかるそうです。その時間を利用して読書をして、年間200冊から300冊読むそうです。中江さんは、講演会で読書のことを「すぐにできる心の旅。日常を豊かにするヒントが詰まっている」と本の魅力について話されています。

みなさん、心の旅をして日常生活を豊かにしましょう。本を楽しむ時間を設けることは大切なことです。家に帰るとテレビの音とともに過ごす生活が日常的で普通になっていると思いますが、テレビを消して読書を楽しみませんか。



おめでとうございます！

昨年度、「読書ノート」に取り組んだ人の中から、後期(2月)までに目標の100冊を達成した5年生の稲田さん、中野さん、3年生の和多さん、2年生の濱口さんの名前が、4月26日(木)の朝日新聞デジタル(電子版サービス)に掲載(予定)されます。おめでとうございます！

前期(9月)は、9名の方が目標を達成し掲載されました。今年も、大阪読書推進会に「読書ノート」を児童数分申し込みました。申し込み多数の場合は、抽選になります。今年も当たると嬉しいのですが……。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール29 食べ物を欲ばって取らない

食べ物をすすめられたとき、自分だけたくさん取ってはいけません。
●おなかがすいているのはきみだけではない。小さいほうを選んだり、少なめに取る方が礼儀正しい。きみが欲ばったせいでほかの人の分がたりなくなったら、その人たちに失礼だからだ。